

○令和3年7月16日に開催された標記協議会において、自治体で水問題を解決するために必要なことや流域治水の取り組みに期待することなどについて意見を伺いました。主な意見は以下の通りです。

- 農家の理解と協力を得ながら、関係機関が連携し、田んぼダムを検討、拡充していくことが大事である。
- 雨水排水機場等の機能強化、整備促進を今後も図っていく必要がある。
- 流域治水プロジェクト推進の内容を踏まえ、引き続き河川整備の強化が重要となる。
- 気候変動を踏まえた流域治水の考え方が今後住民の方々や企業を巻き込んだものになることを期待する。

○一層の連携、情報共有を図り、田んぼダムなど実践に入っている管内流域の取組を全国に展開出来るよう「流域治水」を今後も一致協働して進めていくことを再確認致しました。

**【開催状況】**

※新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として、Web会議にて開催しました。

**【開催概要】**

※減災対策協議会と流域治水協議会を合同開催

- ◇日時：令和3年7月16日（金） 9：15～11：00
- ◇場所：北上川下流河川事務所 大会議室（発信会場）
- ◇出席者：協議会各構成員（国、県の機関や管内自治体首長等）

**【議事】**

- ◆国土交通大臣からのビデオメッセージ紹介
- ◆流域治水協議会規約の改正
- ◆吉田川流域治水シンポジウム
- ◆流域治水に関する意見交換



発信会場（北上川下流河川事務所大会議室）



Web会議



国土交通大臣からのビデオメッセージ紹介